

平成30年10月22日(月)

午後7時から

徳島保健所 会議室

【議題2】 地域医療構想の進め方等について

【議題3】 平成29年度病床機能報告の結果について

(事務局より説明)

◆質疑◆

(アドバイザー)

今年の病床機能報告で資料2の7ページだが、一般急性期で精緻化した内容にそぐわないものについては報告ということだが、そのデータについては後で出てくるのか。これはDPC以外はわからないと思うが、その辺りはどうなのか。

(事務局)

こちらに記載されている項目については、病床機能報告で別途医療機関の方から報告された数字を基に分析されているということで、DPCのレセプトとは違った報告結果により分析されるということだ。

(委員)

11ページに6年後に過剰な医療機能に転換する医療機関の状況というところで、例えば2025年問題は以前から言われていて、もうすでにそういうことに対応していこうということでやられている病院もあると思うが、それはどうなるのか。今後対応していくということか。だいぶ前から言われていた。2025年に対して病床機能が急性期が多いのでそれに向けて病院としては例えば我々のところでも対応していかないといけないと、以前から県の方にもお伺いを立てて、ご意見を聞いたりに対応をしているが、今後予定するという機関で、すでにやっているところもあると思うが、その辺はいかがか。

(事務局)

地域医療構想調整会議だが、各医療機関が報告する病床機能報告と必要病床数を見ていこうというものだ。6年後に過剰な医療機能に転換する医療機関は、病床機能報告のところで選択する項目がある。その結果、平成29年度東部で見ると7機関あるという状況だ。

(委員)

お聞きしたいのは、今病床機能報告は病院に委ねられている。1つ具体例を挙げると、例えば緩和ケアも急性期で申請するところもあればということも以前に何かの会議で聞いて

た。慢性期で出すか、急性期で出すかは病院によって申請の仕方が違う。それが明らかに現状とかけ離れているのではないかという話があって、もちろんそういう病棟だと慢性期になってくる。それですでにそれを対応していると、今後数年間の間に急性期から変えていかないといけないというところに、いろんな会議で話し合いが持たれると思うが、対応しているところもあるのではないか。今後予定しているのはこういう病院で、今後予定していかないといけない医療機関も出てくると思う。すでに廃業していつているところもあると思うが、その辺はどうか。

(事務局)

個別の病院ごとにこれから機能と役割、病床数というのは確認させていただく。その時に病床機能報告はこうなっているが、すでに違うことに取り組んでいるとか、これから先6年後はこういうふうに取り組もうと考えているということをお個別に会議で出していただければと思っている。

(議長)

6年後、自分の病院がどうなっているかのデータを出すときに判断するわけで、大きな病院の先生方はそうだが、診療所においては休床にしてしまうか、病床を変換するという選択肢も出てくる。公的病院の具体的対応方針については次のディスカッションで議論すると思う。